



2023年3月期 決算補足説明資料

株式会社インターネットインフィニティ

<証券コード：6545>



2023年3月期 通期業績

- レコードブック事業**
 - ✓ 新規出店を継続し、総店舗数は前年同期比で増加
 - ✓ 利用者数は過去最高を更新し、売上高、利益ともに前期比で増加
- ケアサプライ事業**
 - ✓ 住宅リフォームを専業とする株式会社正光技建を新規連結し、売上高が増加
 - ✓ 介護保険外事業を含むシニアライフ全般をサポートする事業として位置付けを整理
- 在宅サービス事業**
 - ✓ 当期首の会社分割により連結子会社のカンケイ舎に事業承継
 - ✓ 中重度介護者向け領域の事業強化を目的に、住宅型有料老人ホームの事業を譲受け
- 全体に関わる事項**
 - ✓ M&Aやスタートアップへの投資などを実行し、事業領域を拡大
 - ✓ M&A関連費用やDX推進等の将来投資、通常の事業活動再開に伴う雇用を維持するため報酬水準の見直し等により全体的に費用が増加し、前期比で営業利益は減少

2024年3月期 通期業績見通し

	当期比	
売上高	12.5%▲	✓ 感染症の影響については当期までと比較し軽微となる前提のもと見通しを算出、レコードブック、在宅サービス事業の利用者数は緩やかな回復を見込む
営業利益	74.2%▲	✓ コロナ禍で鈍化していたフランチャイズの新規出店を増店強化策により再加速
経常利益	7.5%▲	✓ 当期に実行した2件のM&Aによる体制強化に伴いケアサプライ事業、在宅サービス事業を中心に売上高が当期比で増加、段階利益も増加の見通し
親会社株主に帰属する 当期純利益	202.6%▲	

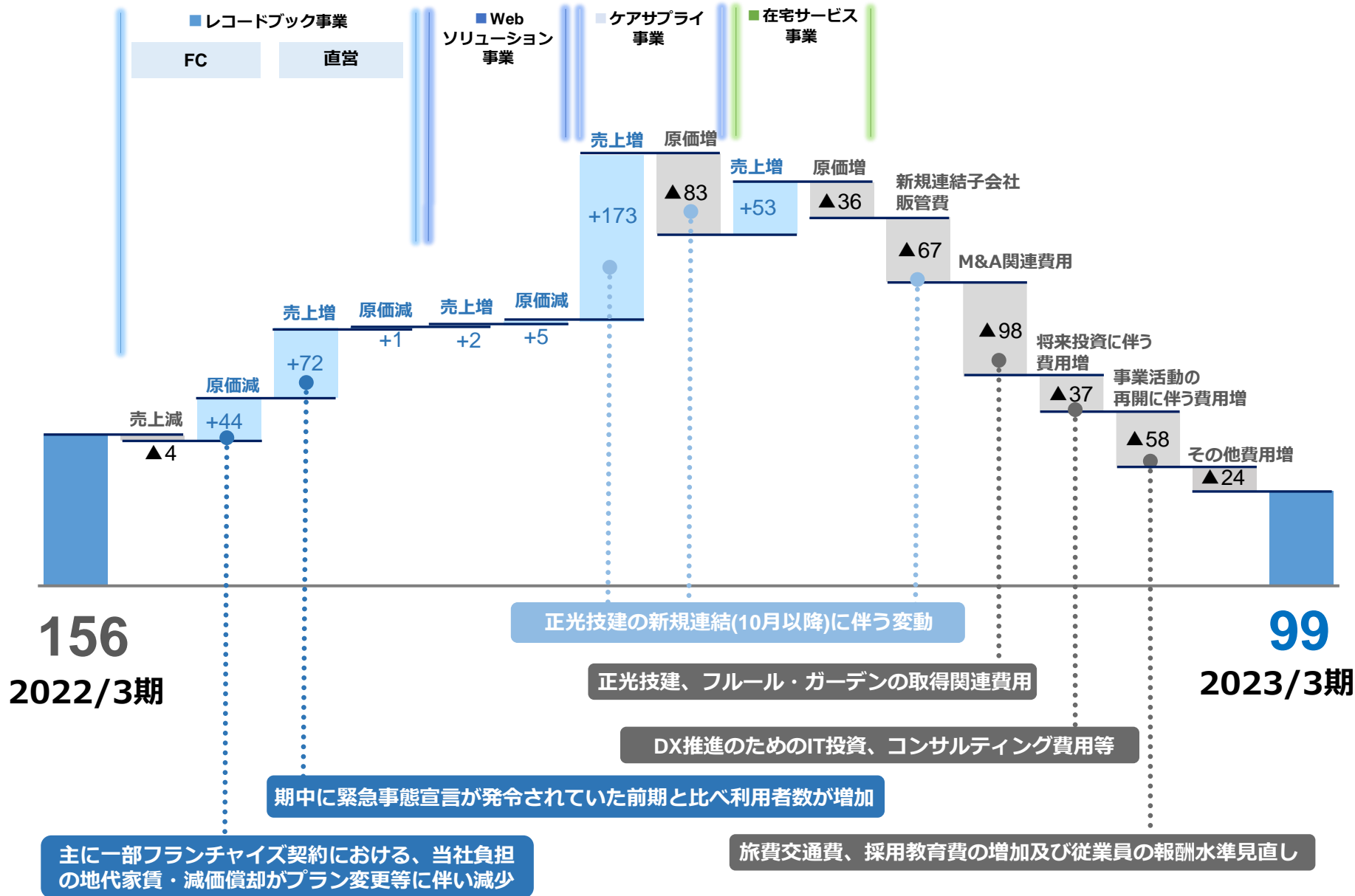
2023年3月期 通期業績

単位：百万円 ()内は利益率	2022/3期 実績	2023/3期 実績	増減率	主な増減理由
売上高	4,168	4,464	+7.1%	ケアサプライ(正光技建)+172、レコードブック+68、在宅サービス+53、Web+2
営業利益	156 (3.7%)	99 (2.2%)	▲36.5%	在宅サービス▲92、先行投資等の本社費▲43、レコードブック+72、Web+3、ケアサプライ+2
経常利益	289 (6.9%)	149 (3.3%)	▲48.4%	【営業外収益の減少理由】 助成金等収入▲76
親会社株主に帰属する 当期純利益	186 (4.5%)	35 (0.8%)	▲81.2%	【特別損失の増加理由】 減損損失+39
ROE (%) ※	15.0	2.8		
EPS (円)	34	6		

※ 2022/3のROEは、連結初年度のため期末自己資本に基づき算定

営業利益増減分析

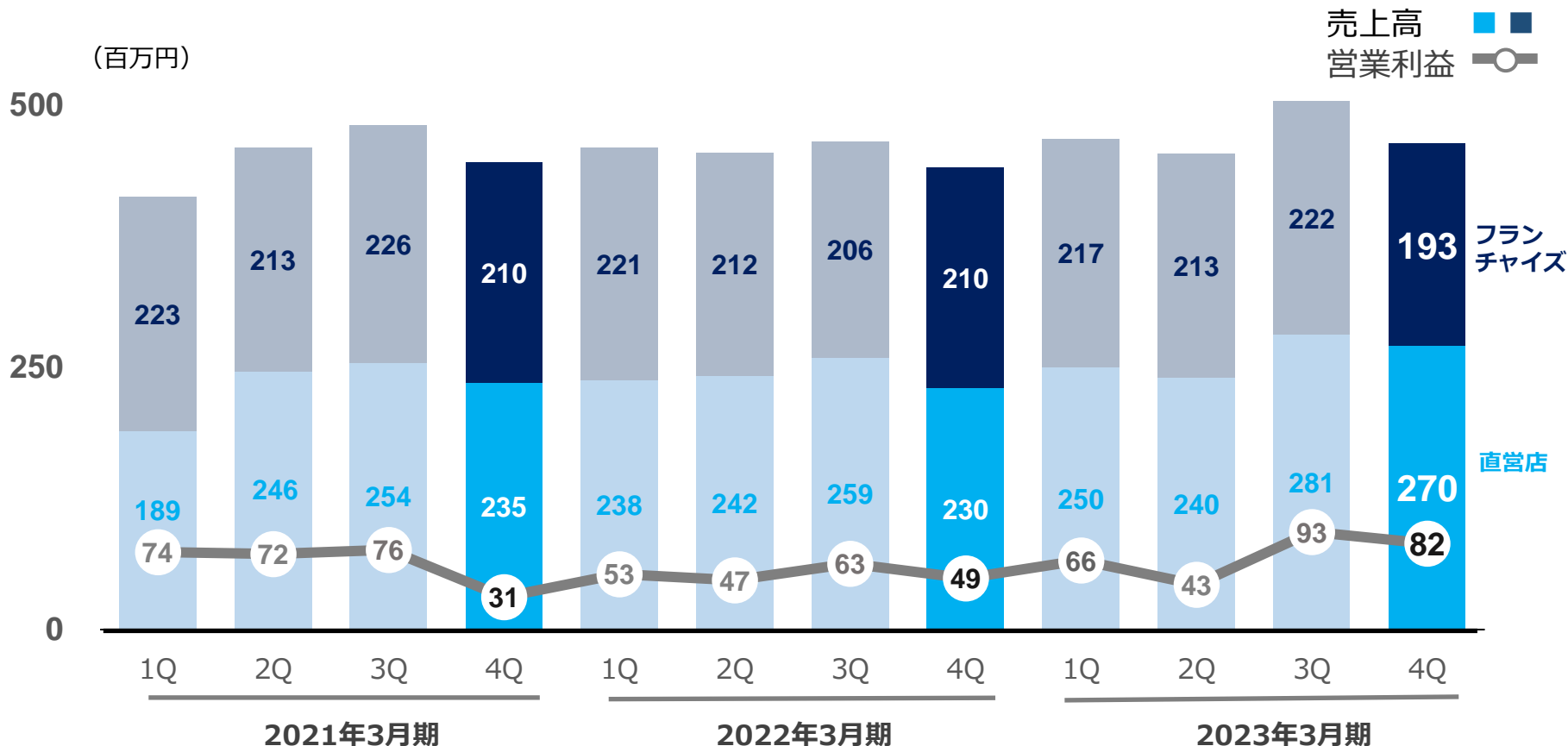
単位：百万円



2023年3月期 セグメント別業績

(単位：百万円)	2022/3期			2023/3期			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	2,893	69.4%	338	3,136	70.3%	417	+243	+79
レコードブック	1,819	43.6%	212	1,887	42.3%	284	+68	+72
直営店	969	23.3%	52	1,041	23.3%	117	+72	+64
FC店	849	20.4%	159	845	19.0%	167	▲4	+7
Webソリューション	230	5.5%	49	233	5.2%	53	+2	+3
シルバーマーケティング	86	2.1%		90	2.0%		+3	
仕事と介護の両立支援	133	3.2%		127	2.9%		▲5	
メディカル	10	0.3%		15	0.3%		+4	
ケアサプライ	843	20.2%	76	1,015	22.8%	79	+172	+2
■在宅サービス事業	1,274	30.6%	377	1,327	29.7%	284	+53	▲92
通所介護	445	10.7%	123	406	9.1%	63	▲39	▲60
訪問介護	508	12.2%	182	482	10.8%	132	▲26	▲49
居宅介護支援	320	7.7%	71	350	7.8%	85	+30	+13
施設介護	—	—	—	88	2.0%	3	+88	+3
調整額	—	—	▲559	—	—	▲603	—	▲43
合計	4,168	100.0%	156	4,464	100.0%	99	+296	▲57

売上高 1,887百万円（前期比+8.4%） 営業利益 284百万円（同+34.3%）

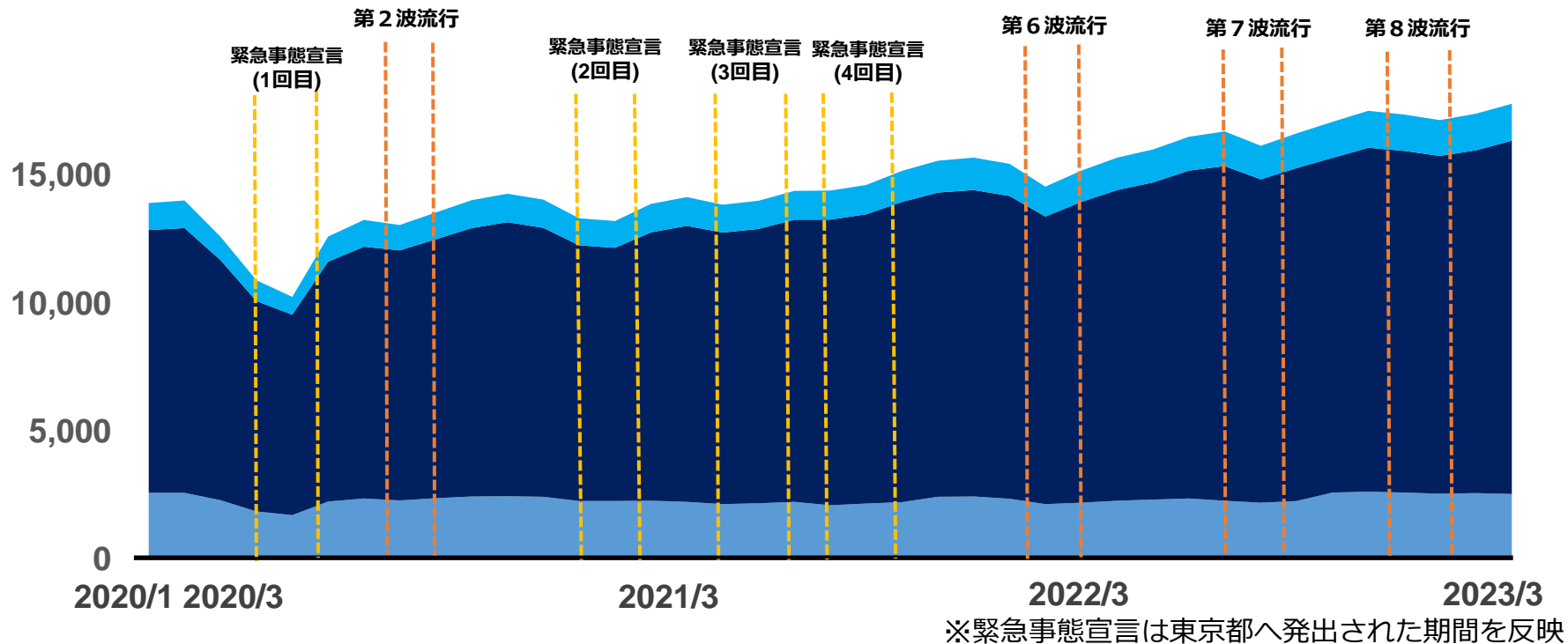


■ コロナウイルス感染症の影響が軽微となり、前期比で売上高・営業利益が増加

- ✓ 当期中にFC店加盟店3店舗を譲受けたこと等に伴い、直営店の売上高が増加
- ✓ フランチャイズは、店舗数や利用者数の増加に伴いロイヤルティ等収入の増加傾向が続く
- ✓ 新規出店に伴う初期費用等の収入は、出店時期と売上計上タイミングにずれがあるため前期比で減少

利用者数（人）

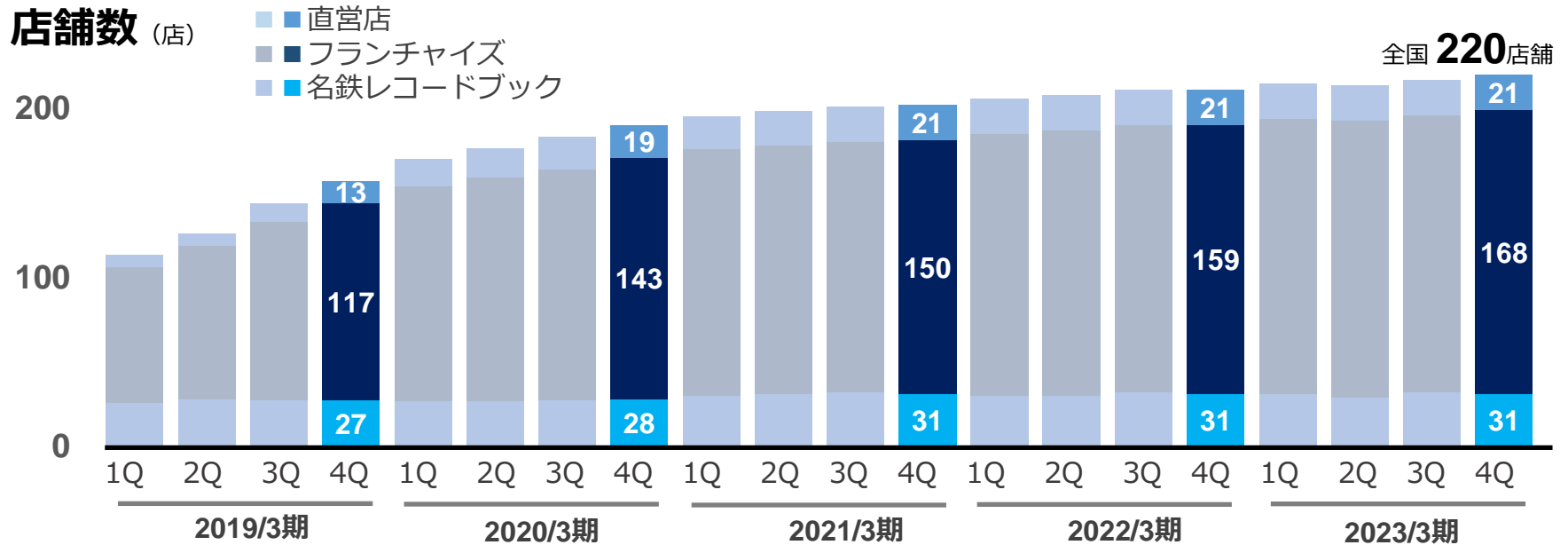
- 直営店
- フランチャイズ
- 名鉄レコードブック



■ 感染拡大の波の影響を受けるも、店舗数増加に伴い利用者数は過去最高に

- ✓ コロナ禍以降、行動制限措置の緩和や、健康二次被害の予防対策として高齢者の運動習慣の重要性への理解が浸透した結果、利用者数は増加基調で推移
- ✓ 今冬の感染症第8波による影響はこれまでと比較すると軽微に留まり、2023年3月の利用者数は過去最高を更新

レコードブック事業 – 新型コロナウイルス感染拡大の影響（店舗数）



新規	10	13	19	13	13	8	9	8	9	3	4	2	4	3	3	0	5	3	4	4
閉店	0	0	1	0	0	2	2	1	4	0	1	1	0	1	0	0	1	4	2	0
店舗計	113	126	144	157	170	176	183	190	195	198	201	202	206	208	211	211	215	214	217	220
FC化	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1
直営化	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	2	2	0	0	1	3	0

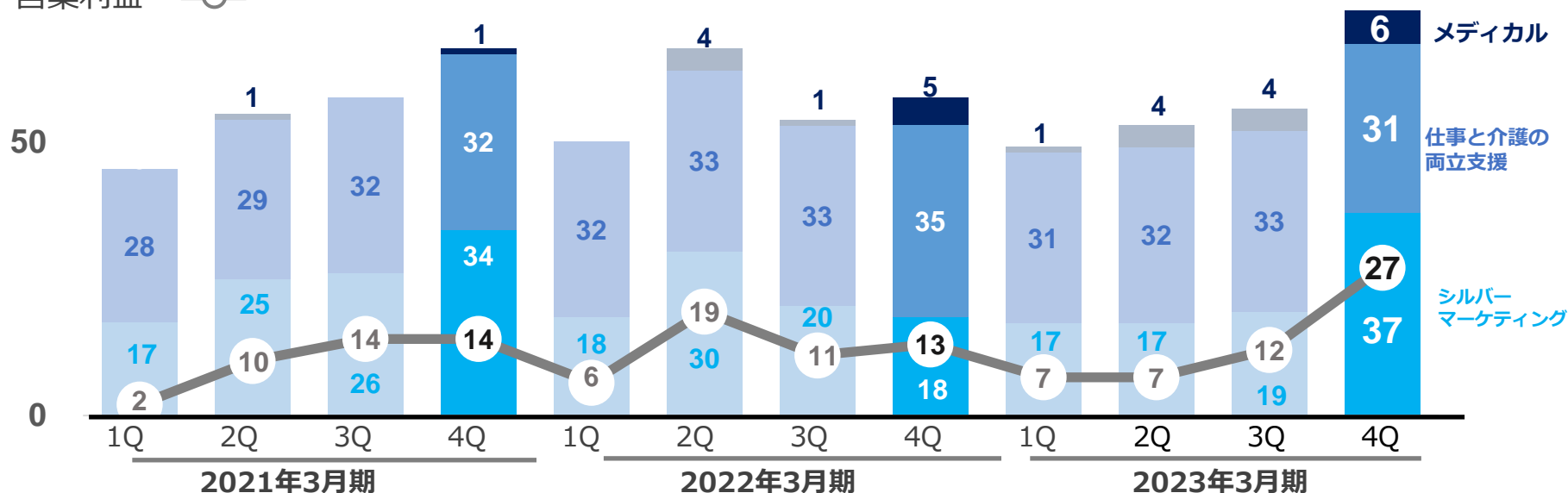
■ コロナ禍においても融資環境の改善により一定の新規出店を継続

- ✓ 既存加盟店に対する増店施策を強化し、当期の年間出店数は前期比を上回る
- ✓ 更なる出店加速に向けて、翌期も増店施策を継続

売上高 233百万円（前期比+1.1%） 営業利益 53百万円（同+7.7%）

（百万円）

売上高 ■■■
営業利益 ○—



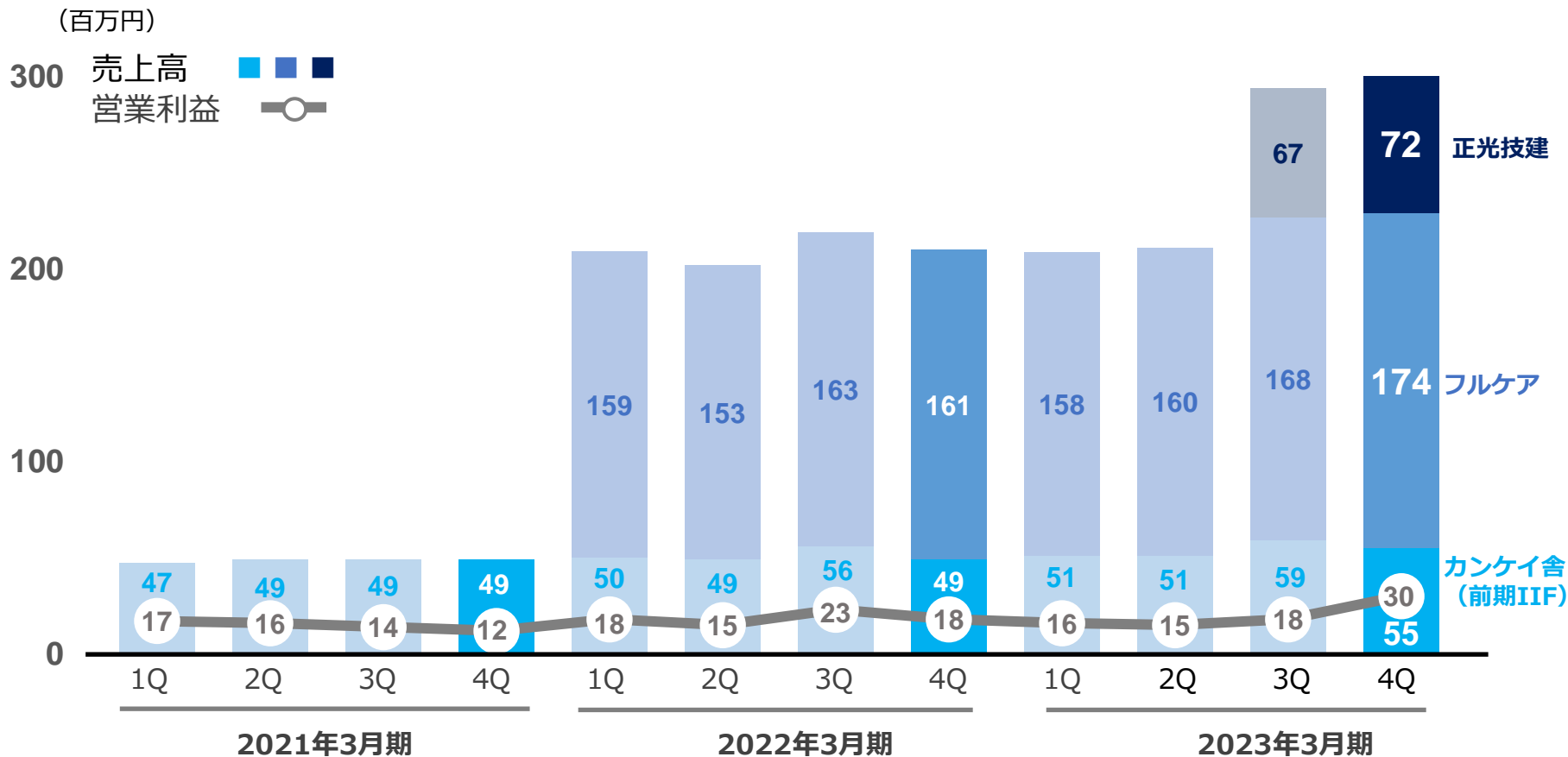
■ メディカルソリューション分野の営業強化を推進

- ✓ メディカルソリューション分野での営業活動の強化を継続しており、当期においても複数案件の新規案件を獲得
- ✓ 仕事と介護の両立支援では、22年10月から新サービスの『わかるかいごBizクラウド』を提供開始。クラウド上で管理できるため、操作性、利便性、安全性が大幅に向上

当期の主な わかるかいごbiz 新規契約企業

日立グループ各社、コーンズグループ会社

売上高 1,015百万円（前期比+20.4%） 営業利益 79百万円（同+3.5%）

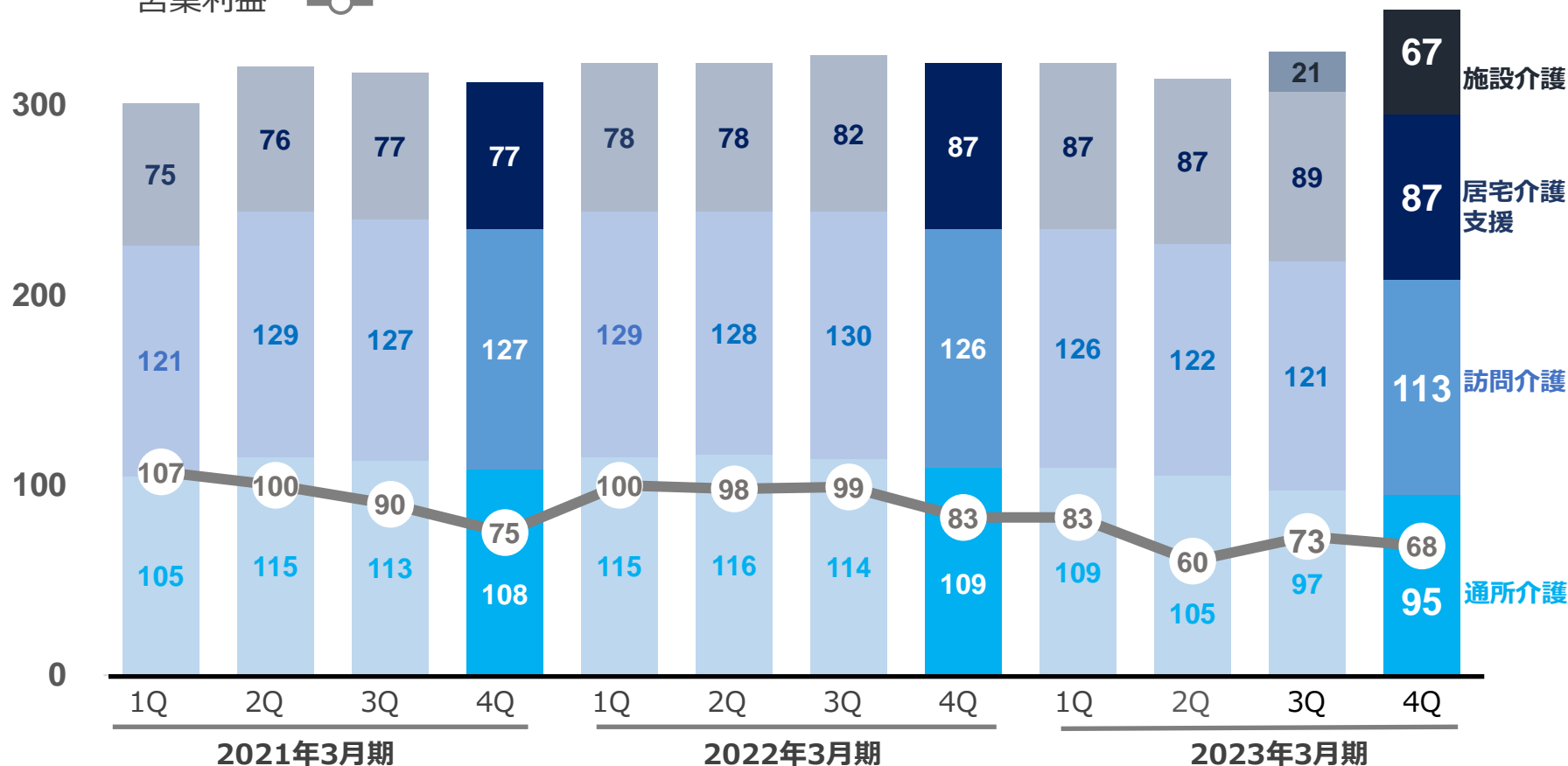


■ M&Aにより、グループ間の連携やノウハウの共有を強化し事業を拡大

- ✓ 22年12月に住宅リフォームを専業とする正光技建の新規連結により、売上高は大きく増加
- ✓ 介護保険外事業を含めたシニアライフ全般をサポートする事業として位置付けを整理

売上高 1,327百万円（前期比+4.2%） 営業利益 284百万円（同▲24.5%）

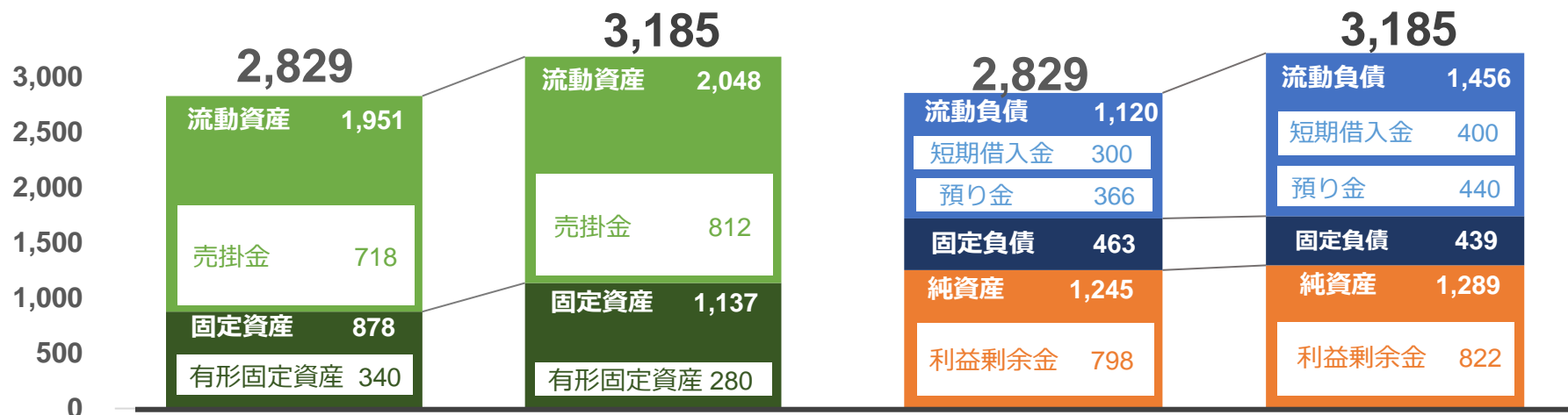
(百万円) 売上高 ■■■■
営業利益 ○—



■ 当期首に連結子会社カンケイ舎に事業を承継、更なる成長を目指す

- ✓ 中重度介護者向け領域の事業強化を目的に、22年12月に住宅型有料老人ホーム2施設を譲受け
- ✓ 分社化に伴う独自施策等の推進により費用面がやや増加し、営業利益は減少

2023年3月期 連結貸借対照表



(単位：百万円)

2022/3期

2023/3期

2022/3期

2023/3期

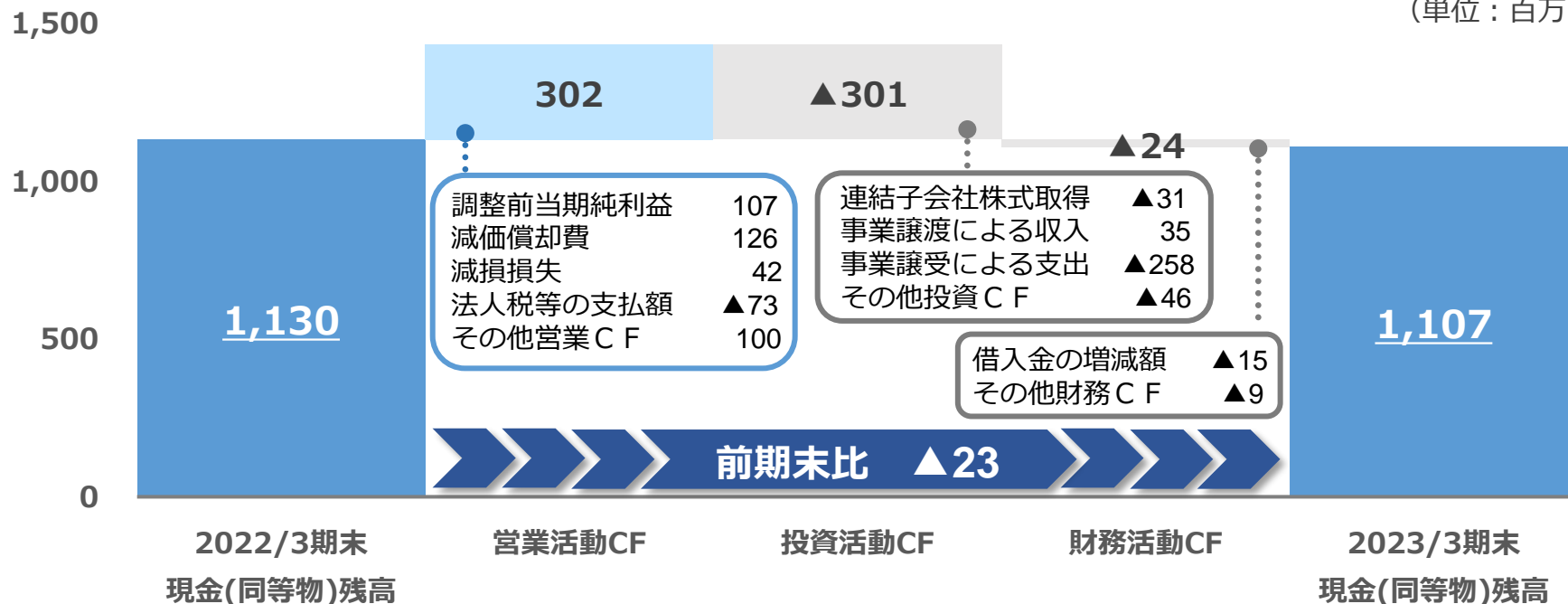
	2022/3期	2023/3期	増減額
流動資産	1,951	2,048	+97
現金・預金	1,130	1,107	▲23
売掛金	718	812	+94
その他	102	128	+26
固定資産	878	1,137	+259
有形固定資産	340	280	▲60
無形固定資産	240	449	+209 ^①
投資その他資産	297	407	+109 ^①
資産合計	2,829	3,185	+356

① M&Aに伴うのれん及び繰延税金資産の増加

② 主にレコードブックの利用者数回復に伴う増加

	2022/3期	2023/3期	増減額
流動負債	1,120	1,456	+336
短期借入金	300	400	+100
預り金	366	440	+74 ^②
その他	453	616	+163
固定負債	463	439	▲24
長期借入金	343	307	▲36
その他	119	131	+12
純資産合計	1,245	1,289	+35
資本金	252	252	—
資本剰余金	237	237	—
利益剰余金	798	822	+24
自己株式	▲42	▲23	+19
負債純資産合計	2,829	3,185	+356

(単位：百万円)



	2022/3期	2023/3期	前期比 (増減額)
営業活動C F	271	302	+31
投資活動C F	▲236	▲301	▲65
財務活動C F	250	▲24	▲274
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	285	▲23	▲308
現金及び現金同等物の期首残高	845	1,130	+285
現金及び現金同等物の期末残高	1,130	1,107	▲23

2024年3月期 通期業績見通し

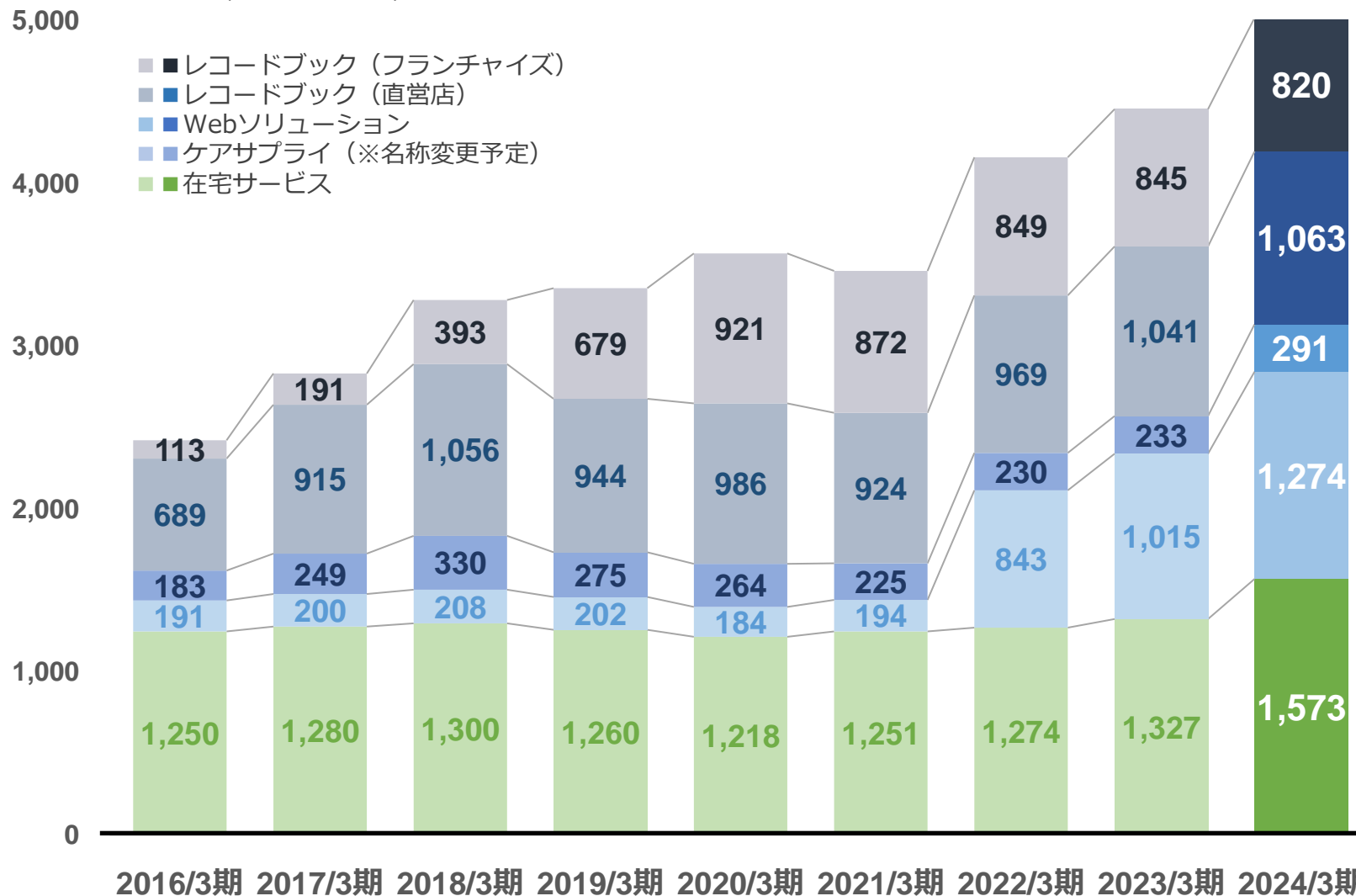
23/3期に実行した2件のM&Aによる増収効果に加え

DX推進等の将来投資に伴う利益体質改善効果により、大幅な増益の見込み

単位：百万円 ()内は利益率	2023/3期 通期実績	2024/3期 通期予想	前期比 増減率	主な増減理由
売上高	4,464	5,022	+12.5%	ケアサプライ(正光技建)+258、在宅サービス+245、Web+58、レコードブック▲3
営業利益	99 (2.2%)	172 (3.4%)	+74.2%	在宅サービス+79、レコードブック+76、ケアサプライ+37、Web+3、本社▲123
経常利益	149 (3.3%)	160 (3.2%)	+7.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	35 (0.8%)	106 (2.1%)	+202.6%	(23/3期は減損損失42百万円を計上)
R O E (%)	2.8	7.9		
E P S (円)	6	19		

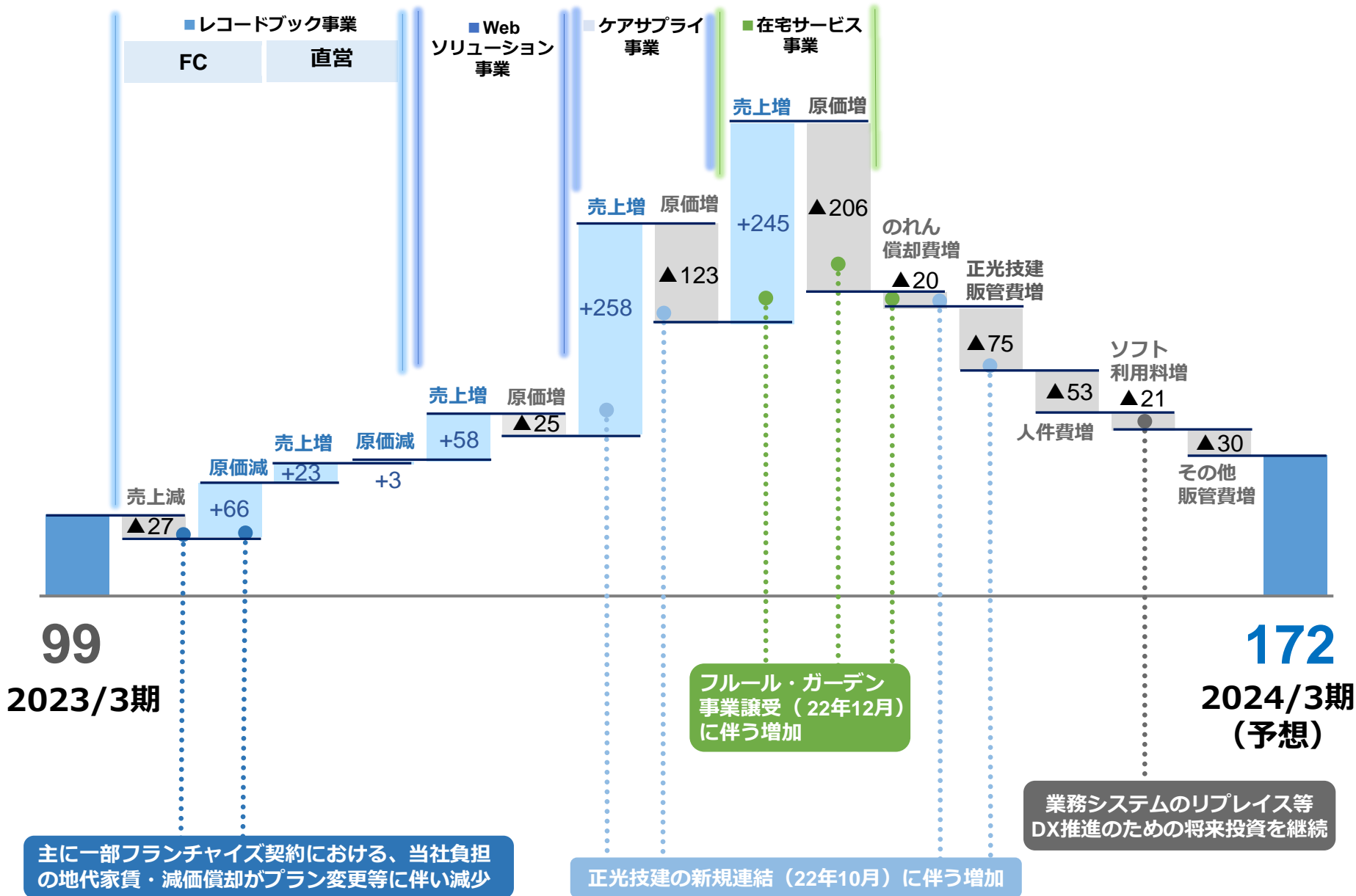
23/3期のM&Aによる体制強化に伴いケアサプライ・在宅サービス事業を中心に売上高は増加

売上高推移 (単位：百万円)



営業利益見通し増減分析

単位：百万円



2024年3月期 セグメント別業績見通し

(単位：百万円)	2023/3期実績			2024/3期見込			増減額	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
■ヘルスケアソリューション事業	3,136	70.3%	417	3,449	68.7%	535	+312	+117
レコードブック	1,887	42.3%	284	1,883	37.5%	361	▲3	+76
直営店	1,041	23.3%	117	1,063	21.2%	106	+21	▲10
FC店	845	18.9%	167	820	16.3%	254	▲24	+87
Webソリューション	233	5.2%	53	291	5.8%	57	+58	+3
シルバーマーケティング	90	2.0%		104	2.1%		+14	
仕事と介護の両立支援	127	2.9%		133	2.6%		+5	
メディカル	15	0.3%		54	1.1%		+38	
ケアサプライ	1,015	22.8%	79	1,274	25.4%	116	+258	+37
■在宅サービス事業	1,327	29.7%	284	1,573	31.3%	364	+245	+79
通所介護	406	9.1%	63	442	8.8%	94	+35	+31
訪問介護	482	10.8%	132	503	10.0%	149	+21	+17
居宅介護支援	350	7.8%	85	362	7.2%	93	+12	+7
施設介護	88	2.0%	3	264	5.3%	26	+176	+22
調整額	—	—	▲603	—	—	▲727	—	▲123
合計	4,464	100.0%	99	5,022	100.0%	172	+558	+73

成長投資と株主還元の両立を図りつつ資本効率の向上を目指す方針のもと 2024年3月期期末からの配当開始を予定

■ 利益配分に関する基本方針

- ✓ 資本の健全性や成長投資とのバランスを検討した上で、配当を基本として株主還元を実施
- ✓ 利益成長を通じ、1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を目指し、配当性向20%を目標

■ 2024年3月期配当予想について

- ✓ 上記の基本方針を踏まえ、2024年3月期期末より配当実施予定（初配）

基 準 日	2024年3月31日
1 株 当 た り 配 当 金	4.0円
配 当 金 総 額	21百万円
配 当 性 向	20.4%
配 当 原 資	利益剰余金

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部
Email: ir@iif.jp